|  |
| --- |
| **「第２回山都町清和義務教育学校設立準備委員会」での主な意見と対応** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な意見 | 対応 |
| １ | 義務教育学校になって、教職員数が減るようなことがないように。 | 義務教育学校になることによって配置する教職員内容はより充実する。 |
| ２ | 電子黒板等のICT機器は指導現場においても効果を期待できか。 | ICT機器が十分活用できるような校舎の計画を行う。 |
| ３ | どんな教育システムで子どもたちに教育を受けさせたいかというところからどういう空間や環境が必要なのかというように考えたほうがいいのでは。 | 清和の義務教育学校の教育目標を設定し、そのためにどんな施設が必要かという順番で検討を進めていく。 |
| ４ | 車イスのままで入れるような多目的トイレは必要である。 | 設置する。 |
| ５ | 母数が少ないと予想されるので、保護者・児童生徒向けのアンケートは全町的に実施してはどうか。 | 保護者アンケートは全町を対象に実施する。生徒向けについては、回収率の高さと生徒数の規模の違いを勘案して、清和地区の意見を尊重するため清和小学校、中学校生を対象として実施する。 |
| ６ | アンケートの設問に体験活動についての問が欠けている。Q6の14番目を「故郷を愛し、誇りを持てる体験活動を重視する教育」としてはどうか。 | 提案の通りアンケートを修正する。 |
| ７ | 今回で候補地を2案に絞るのは難しいのでは。 | 本委員会での議論は、準備委員会としての案としてまとめ、山都町教育委員会に報告し、教育委員会において決定する。 |
| ８ | それぞれの候補地で、それを現在使用している事業者や団体があるが、代替措置は用意できるのか | 現時点で具体的な代替措置の準備はないが、議論の方向性次第で必要性が生じれば検討する。 |
| ９ | 学校名を来年の夏までに決めたい。名称の決定方法について、公募するか委員会で決めるかをアンケート中で問いたい。 | アンケート中で学校名の決定方法について問う。 |
| １０ | 4番候補地（旧織物工場）を選んだ場合に開校が遅れる恐れはないか | 他の候補地と比較すると、隣接地取得手続き、都市計画法に基づく開発許可申請などの工程が多くその影響を想定する必要がある。次回の準備委員会でその見通しを示す。 |